

皇居内生物学ご研究所での 貝類に関するご進講

大 山 桂

天皇陛下は昨年ご出版された「那須の植物」に次いで生物学ご研究所から相模湾の貝類の図譜のご出版を予定遊ばしておられる。京都の黒田徳米博士はかねてからその図譜の完成に尽力しており 昨秋召されて進捗状況をご報告申し上げた。黒田博士は日本貝類学会の会長であり その図譜に関してご報告申し上げる時に 東京付近在住の同会理事4名もお召しいだいで 最近の貝類学上の話題をお話し申し上げたいと願ひ出て許された。

その理事4名とは 筆者のほか波部忠重・河村良介・中上川小六郎の3氏である。

当日一同は 科学博物館に集まり うちそろって皇居内生物学ご研究所へ向かった。小雨降る午後2時過ぎ 生物学ご研究所でお待ち申し上げた。最初に黒田博士が御前に召されて諸報告申し上げた。次いで理事4名が招かれ 大山・波部・河村・中上川の順にお話し申し上げた。筆者は 最初にザクロスナギンチャクという群体を作るイソギンチャクの類と共に 生息する貝類に関する最近の観察結果を述べた。

スギモトサンゴヤドリという貝がザクロスナギンチャクに寄生することは 三十余年前から報告されていたが 昨年8月に観察した時には雌雄が相接して棲み 雌は卵囊をもっていたことは 最近の貝類学界のニュースの1つである。またヒクナワメグルマがザクロスナギンチャクに糸を出して付いていたが 船がいかりを降ろしたように あるいは捕鯨船の綱のついたもりが クジラにささったように付いており この珍しい生態も最近の貝類学的话题をにぎわした。これら二種の標本をお目にかへ その生態をお話し申し上げると共に クリフレイシ・ボサツガイ・コシタカサザエ等もザクロスナギンチャクの群体の上に観察されたことを付けたした。

次にオキニシ科とアラレボラ類について説明申し上げた。むかしはこの類を同じ属に入れ しかも何人かの貝類学者が他人の属名を使わず 自分で勝手に属名を作って *Bursa*, *Gyrineum*, *Apollon*, *Biplex*, *Ranella* の名ができたため 後年混乱を生じた。次にオキニシ科にはフタで3群に分けられ ミヤコボラ属のフタはウネウラシマという別の科のフタによく似ており ナルトボラ属のフタは1種独特で 他のオキニシ科は普通のフタ

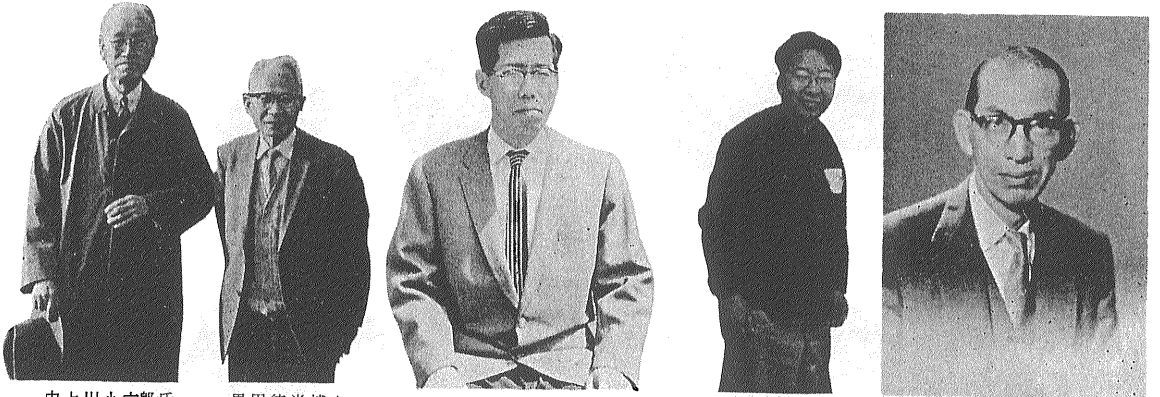
をしている。このフタの形と殻の形とが分類の基準になる。また 南方にしか知られなかった *Gyrineum crumena* (LAMARCK) スミツキミヤコボラと *Gyrineum koperbergae* (ALTENA) ヤスリミヤコボラとは 最近になって台湾海峡から採集され そこが新産地でしかもこの種の北限であることが明らかになった。

筆者に次いで 波部忠重博士は ナワボラ科を検討した結果を報告申し上げた。いままで他の科と考えられていた貝が本科であったり また逆に本科の貝と思われていた貝が別の科に移されたりして 分類学上興味ある問題もあり また コナワボラ(サワラビ)はケヤリムシの管に雌雄で棲むという生態学的におもしろい事実もあつて 深いご関心をお示しになった。ついで同博士はアカガイの類の話をされた。食用貝類の学名があまり変わるので 学名の安定のため 今回はアカガイ類を研究して 従来 あまりはつきりしていなかったクマサルボウやクイチガイサルボウについて とくにお話し申し上げた。

ついで 河村良介氏が高知県西南部(豊後水道)の沖ノ島のドレツジとサンゴ網からの収獲についてお話し申し上げた。今年の夏 河村氏は漁業者で貝類収集家の網中淳氏を伴って沖ノ島に行き 舟に強い網中氏がドレツジを引いて ニシキツノガイ等をえた。この貝の肉が入った新鮮な標本は 今回はじめて採集され 色が美しいみごとな標本をごらんになって 献上品にお喜びのように拝された。また サンゴ網は50年ぶりで最近の2~3年操業しだしたものである。その結果長い間採れなかったサンゴ網にかかる貝類が久しぶりに採れだして 収集家を喜ばせていることも お話し申し上げた。

最後に中上川小六郎氏は横須賀沖の貝類2種の標本を献上して その解説をされた。横須賀沖でアヅマニシキというホタテガイに近い貝を採る網にメダカラガイもかかるが 海岸で見られるメダカラガイと一見相異なるように思われ 新しい学名が必要ならば自分の姓を献名してほしいのに誰もそうしてくれないと申し上げて なごやかなふん困気を作られた。

一同がお話し申し上げた後でご下問があり 河村氏の



中上川小六郎氏

黒田徳米博士

波部忠重博士

大山桂技官

河村良介氏

献上された標本をご覧になられた後 午後4時過ぎお帰り遊ばされ 一同はお見送りした後 帰途についた。なお 多少蛇足とは思いますが 会長や理事の経歴その他につき少しふれておこう。

会長黒田徳米博士は若いころには 本邦貝類学の育ての親ともいうべき 平瀬与一郎氏が経営した平瀬会館に勤務され 平瀬会館閉鎖後には 京都大学理学部地質学教室で中村新太郎教授の下で助手になり 後に台湾大学に移り さらにその後ふたたび京都大学に戻られた方で現在は高齢のため直接京都大学には席をおかず 和歌山県白浜の京都大学付属臨海実験所の嘱託しておられる。

京都大学の地質学教室で貝類学関係の図書がよくそろっていることは 中村教授の理解と黒田博士の学識によるものである。黒田博士は大学を卒業した方ではないが 独学で貝類学をマスターして本邦最高の権威になられ そのため日本貝類学会の会長に推薦された老大家である。

国立科学博物館の波部忠重博士は 京都大学理学部動物学選科修了で 貝類を分類・生態・発生等の立ち場から研究し 内湾の生物遺骸の堆積に関する業績には 堆積岩の研究者に役立つ研究が少なくない。同博士は京都大学動物学教室の副手から 熊本県天草にある九州大学臨海実験所に転任し 去る4月に国立科学博物館にふたたび転任してきた方である。

筆者は東京大学理学部動物学科(地質学教室でない)の卒業で 卒業論文はタニシの精子発生に関する実験結果をまとめ また貝類収集のアマチュアとしても大学入学以前から貝類学の権威の諸氏 一流のアマチュアの諸氏と交渉があった。現在は現生貝類の分類 生態等に基づいて古生態学を研究していることは 本誌その他か

ら読者におなじみと思ってこれ以上述べない。

河村良介氏は 東京大学経済学部を卒業され 2~3年前まで三和銀行の専務取締役をしておられたが 勇退して現在は日本クレジットビューロー株式会社の社長 熊谷観光ゴルフ株式会社の社長 ならびに他の会社の監査役等もかねておられる。貝類の収集歴も古く 戦争前から東京の貝類収集家で随一ともいわれた方で 貝類学界にも名声が高い。

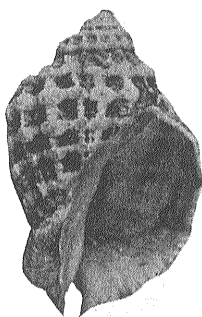
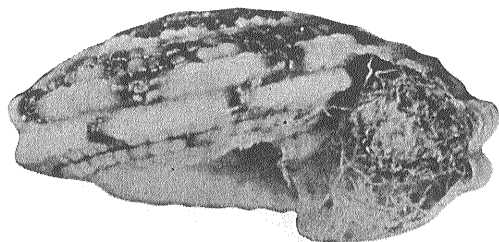
中上川小六郎氏は京都大学理学部化学科の出身であるが 以前三井生命に勤めた方で 今は退職して江ノ島水族館の顧問をしておられ 貝類と共に日を送っておられる。葉山のご用邸に召されてご採集のお供をしたことも少なくない。貝類の収集歴は河村氏より少し短いがそれでも戦前には河村氏と相伯仲するコレクションがあり 不幸にして戦災でほとんど全部を失ったことがおしまれている。戦後は暇にまかせて収集につとめ 収集家としても博学な方の1人である。

以上のように日本貝類学会は学者とアマチュアとで構成され 貝類学の発展にも普及にも 学者と収集家とが一体になって努力している。また本年は35周年を迎えるので白木屋百貨店で展覧会を予定している。

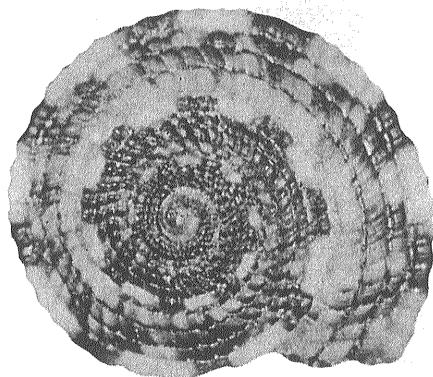
(筆者は地質部 図幅第一課)

× × ×

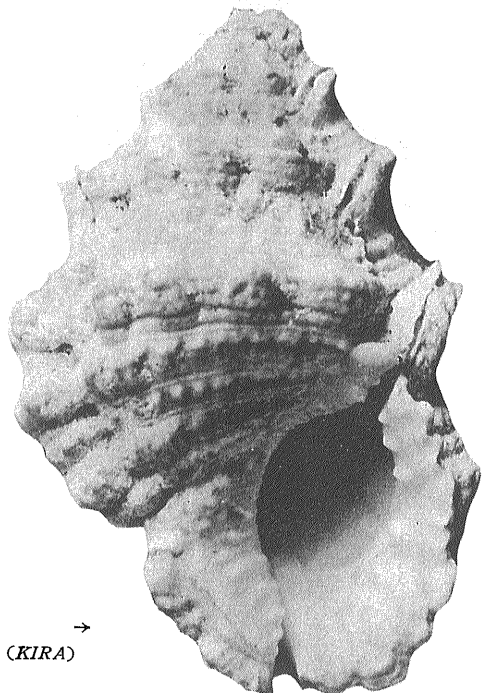
× ×



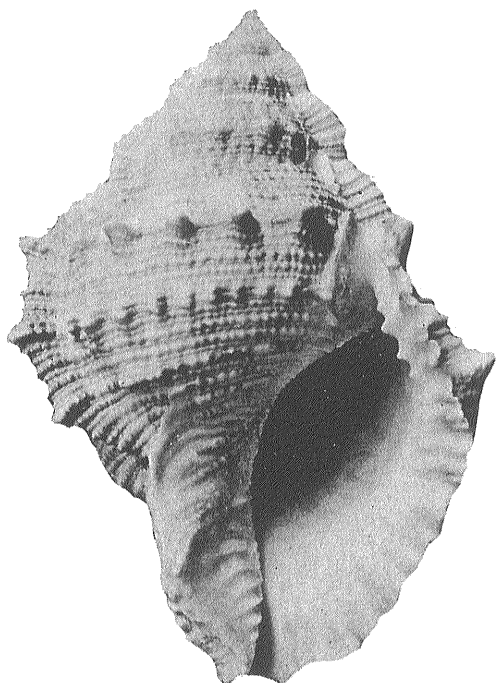
←
スギモトサンゴヤ
ドリ
Coralliophila
sugimotoonis
KURODA
豊後水道沖ノ島産



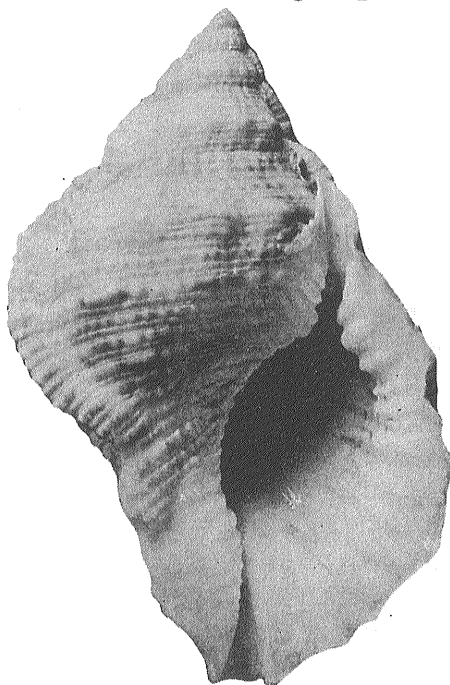
ヒクナワメグルマ 豊後水道柏島産
Heliacus dorsuosus (HINDS)



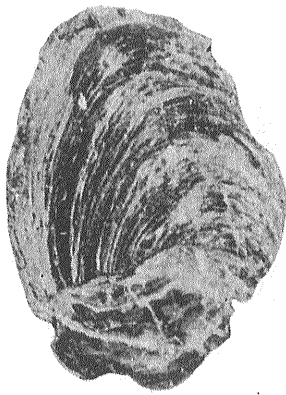
オキニシ科の貝類
オキニシ →
Bursa bufonia dunkeri (KIRA)



スミツキミヤコボラ
Gyrineum crumena (LAMARCK)



ヤスリミヤコボラ
Gyrineum koperbergae (ALTENA)



コナルトボラ
Bufonariella ranelloides (REEVE)



オホナルトボラ
Tutufa bufo (LINNAEUS)

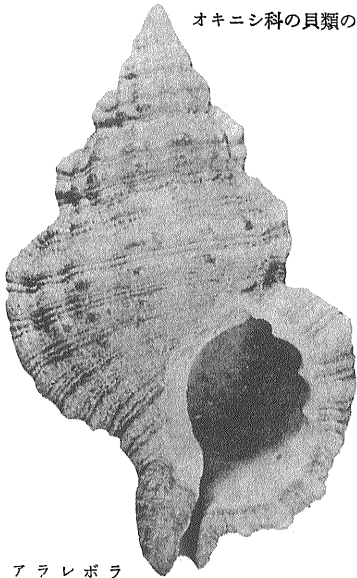


ミヤコボラ
Gyryneum rana
(LINNAEUS)

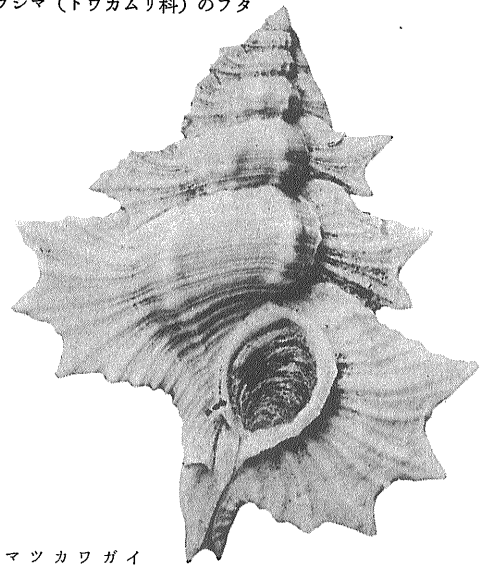


マメシボリウラシマ
Semicassis minor
(KUSTER)

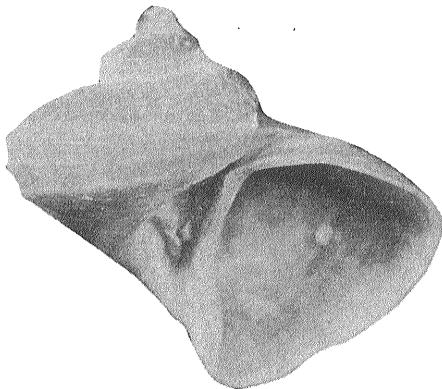
オキシ科の貝類のフタの型とマメシボリウラシマ (トウカムリ科) のフタ



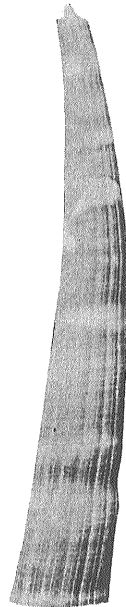
アラレボラ
Apollon (Apollon) tuberculatus (BROLERIP)
紀伊水道田ノ浦産



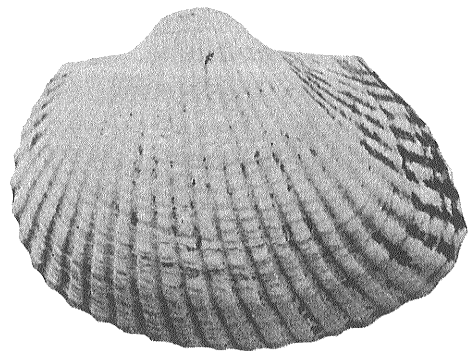
マツカワガイ
Apollon (Biplex) perca (PERRY)
横須賀の西 (相模湾) 産



コナワボラ (サワラビ)
Lippistes (Separatista) helicoides (GMELIN)
相模湾荒崎産



ニシキツノガイ
Dentalium formosum ADAMS et REEVE
豊後水道沖ノ島産



サルボウ
Anadara subcrenata
東京湾産 (LISCHKE)